

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	未来Support Nextdoor		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 1日 ～ R6年 12月 1日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13家庭	(回答者数) 9家庭
○従業者評価実施期間	R6年 11月 1日 ～ R6年 12月 1日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 12月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	①集団活動の充実。 ②活動プログラムが明確化されている。	① 個別支援だけでなく必ず集団活動を入れることで他者理解や協調性、集団でのルールやマナーの習得できるように支援している。メリハリを持った活動を心がけている。 ② 活動プログラムを作成し利用児童と保護者様にお知らせすることで見通しを持った活動ができる。また支援内容の透明化を図れる。	① 地域活動や社会活動へのつながりを持てるように般化を目指す。対人スキルの向上を目指す。 ② 楽しんで学べるように様々なカリキュラムを導入していく。
2	①柔軟な対応 連携や個別対応。 ②定期的に会議研修会を開催している。	①緊急対応や個別対応をできる限り行っている。必要に応じた連携を図る ②知識向上だけでなく実務や実践になるべくつながる内容を盛り込むようにしている。	① 関係機関との連携や情報交換の機会を持つ。 ② 継続していくこと。学びたい内容のアンケート調査し取り入れる。
3	自分らしく活動できる。安心して過ごせる環境の提供。 子供たちとの信頼関係の構築。	大人主導だけでなく子供たち自身が主となり考えてもらい話し合う機会を設けている。日々の活動、関りを大切にしている。 卒業生の相談やサポートも行っているので子供たち自身の交流の幅も広い。	環境面や物理的なことだけでなく見えないものへのアプローチ、サポートをより強化していく。今だけ見るのではなく人生という長いスパンで見え関り、支援を継続していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学習面でのサポートのニーズになかなか答えられない。	学習支援は当初から入っていない。教え方の違いなどあり子供たちが戸惑う可能性がある。学校との密な連携と計画が必要。 事業所としては社会性を重視し支援している。	放課後等デイサービスでも学習支援が必要なのかを含めたアセスメント、学校保護者を交えての話し合いの場を設ける。
2	学校連携 医療連携がスムーズにいかないこと。	学校によって連携の在り方が異なり時間がかかったりスムーズにいかないこと。 保護者と学校との連携の問題 医療にはカンファレンスへの参加ができないことがありなかなか情報共有、情報交換ができない。	地域課題としてあげていく。 連携の必要性を全体で考えていく。
3	児童館、児童クラブなどとの交流が持てていない。 第三者委員会の設置	話を持ち掛けてもなかなか前向きに取り組んでももらえない現実。 第三者委員会にかかる費用の問題	何をしたいかなど含め具体的に示す。 情報交換 検討会をおこなう。